

本単元で育む主な情報活用能力

A-STEP3, C-STEP3
G-STEP3

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- （教科等でつきたい力）
- ・海のごみ問題について知り、自分の疑問をもとに、情報を集める。
 - ・集めた情報から、自分たちにできることを考える。
- （学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・社会の事象に関する課題を設定する。
 - ・情報が信頼できるものか確かめる。
 - ・さまざまな資料、データから読みとった複数の情報をもとに、自分で考えを構築する。

単元における学習の展開（全14時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次(1時間)	OSDGs について知る。(☆)
第2次(7時間)	<p>〇ごみ問題について調べる。(☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海のごみ問題に関する自分の疑問をもとに、調べる。 ・情報カードをつかって情報を整理し、自分たちが今日からできること（KDKs）を出し合った上で、自分たちの校区のどこに、どんなごみが落ちているか予想して話し合う。（本時） ※KDKs・・・今日から（K）できる（D）こと（Ks）
第3次(3時間)	〇ゴミを回収しに行く場所の確認をする。分担して、ゴミを回収しに行く。
第4次(3時間)	〇「はになんごみマップ」を作成する。

本時のねらい

情報カードをつかって情報を整理し、自分たちが今日からできること（KDKs）を出し合う。また、自分たちの校区のどこに、どんなごみが落ちているか予想して話し合い、実際に行動するための計画を立てる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	<p>1. ワークシート（フィッシュボーン図）を見ながら、めあてを確認する。</p> <p>めあて：海のごみ問題に関して、自分たちが今日からできること（KDKs）を考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネットで調べたことを、自分の意見の根拠にすることの重要性を伝える。
展開 (35分)	<p>2. 自分たちが考えた今日からできること（KDKs）を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日からできることを発表し、黒板に掲示する。 ・同じ意見を書いた児童は、自分のワークシートをその近くに掲示する。 <p>3. 考えた KDKs の中から、学校で取り組みそうなことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内や校外でできることをグループで考える。この時に校外でのごみ拾いの意見を取り上げ、実際にフィールドワークを行うことを伝える。 <p>4. 校区内のどこにどんなごみが落ちているか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区の地図などの資料や google マップを使い、グループ内で相談する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの意見に対し、複数の根拠があることを確認させる。 ・同じ意見をかためて掲示することにより、情報を整理・分類できるようにする。
まとめ (5分)	<p>5. 次時の学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたことをもとに、フィールドワーク当日の準備物などを確認する。 	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・自分が知りたいと思ったことや気になったことを、図書資料とインターネットのどちらを使って調べるのが良いか、意見を出し合いながら取り組んだ。その上で、必要に応じて資料を使い分けて調べ学習を進めることでそれぞれの良さを実感していた。
- ・自分が調べた内容を「情報カード」にまとめたが、記載されていることをそのまま書き写す児童もいたので、「これは、どんなことを調べたの？」「調べたことからどんなことを考えたの？」など声かけをしながら、調べ学習を進める必要があった。



情報カードを使って、自分の調べたことを整理させた。